

古文書解説にチャレンジ！ その3 解答

【筆耕】(くずし字の書きおこし)

二度目達状

北陸道

御総督

高倉殿様

御官軍御先鋒

若州様 (若狭国小浜藩主)

芸州様 (安芸国広島藩主)

肥州様 (肥前国佐賀藩主)

大通行高百石二付 人足六人掛※

一 人足拾九人 多摩郡岸村 (現武蔵村山市)

一 同 三十九人 石畑村 (瑞穂町)

一 同 三十人 箱根ヶ崎村 (瑞穂町)

一 同 拾五人 殿ヶ谷村 (瑞穂町)

一 同 九人 高木村 (東大和市)

一 同 拾老人 後ヶ谷村 (東大和市)

一 同 九人 奈良橋村 (東大和市)

一 同 拾人 宅部村 (東大和市)

一 同 貳拾貳人 清水村 (東大和市)

一 同 拾五人 廻り田村 (東村山市)

一 同 拾五人 入間郡正楽寺村 (埼玉県所沢市)

この文字に注目：方角と数字をよもう

「方角」も「数字」もよく登場する基本的な文字でありながら頻出するがゆえにその崩しが強くなりがちです。

方角

北 北 南 南 西 西 東 東

数字

五 五 廿 廿 百 百 廿

大字 (金銭の表記などの際用いる改竄しにくい数字)

壹 (一) 貳 (二) 参 (三) 拾 (十) 拾

※印部補足解説

村高(村の総生産高)百石毎に人足6人ずつ出すということ  
です。たとえば廻り田村上分は二五二石のため、

250÷100×6=15 一五人が割当分ということになります。

ほんの一部ですが、くずし字の読み方のヒントをご紹介します。興味がおありの方は『東村山市史研究』二十五〜二十七号掲載の「史料紹介」にも文書資料を紹介しておりますのでご覧ください。

また、当館では「古文書講座入門編」等講座も開講しております。詳しくは職員までお尋ねください。